

第165回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年12月16日（金）16：30～16：43
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

（1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

5ページ、資料1をお願いします。

【資料1】

昨日の新規陽性者数は、2,833人です。

今週は、12日にこれまでで最多の3,705人の新規陽性者を確認するなど、感染が拡大しており、厳しい状況が続いています。

次に、4ページ。

15日現在の療養者の状況です。

確保病床の入院者は、431人です。このうち、重症者が2人となっております。なお、確保病床外に入院している方も含めた入院者数は640人です。

宿泊療養施設入所者数は、406人となっております。

次に、6ページ

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は、1,064.23人。

今月10日から6日間続けて、1,000人を超えております。

次に、8ページ

確保病床の使用率は、56.3%。

先月22日から24日間連続して50%を超え、60%に近い水準で推移しております。

次に、11ページ

「重症者用の病床使用率」が、4.3%、「発熱外来患者の状況」が、15,948人となっております。

「保健医療の負荷の状況」、「社会経済活動の状況」、「感染の状況」を総合的に勘案すると「レベル2」と考えておりますが、医療への負荷は非常に大きくなっております。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

13ページ、資料3をお願いします。

【資料3】

12月14日時点の接種実績については記載のとおりです。

オミクロン株対応ワクチンの接種回数は、累計で592,749回、全人口に対する接種率は32.2%となっており、全国における接種率27.7%を4.5ポイント上回っております。

次のページをお願いします。

オミクロン株対応ワクチンの接種回数の推移についてであります。

11月14日以降は連日1万回を超えて推移しており、12月に入ってから2万回を超える日もあるなど、接種が進んでおります。

次のページをお願いします。

県が実施する大規模接種の追加実施についてであります。

先週の本部員会議において、郡山市での大規模接種の実施についてお知らせしたところですが、予定していた180名分が予約開始日に定員に達し、追加した20名分も既に定員に達したことから、ワクチン接種を更に促進するため、記載の会場、日時において、追加で大規模接種を実施することといたしました。

使用するワクチンは、オミクロン株BA.4(よん)ー5(ご)対応型ワクチンです。

接種対象者は、12歳以上の初回接種(1回目・2回目)を完了した方で、前回接種から3か月以上経過した方です。

明日17日から予約を開始しますので、県内在住で接種券をお持ちの方は、是非御利用ください。

次のページをお願いします。

今週に入って新規感染者数が過去最多を更新するなど、予断を許さない状況にあります。

接種の時期を迎えられている方については、オミクロン株対応ワクチンや小児用ワクチン等の早期の接種をお願いします。

【福島県医療ひっ迫警報について】

(知事)

全国では、新規陽性者数が前の週の同じ曜日を上回る日が続き、19万人を超える日もあるなど、感染拡大が続いています。

県内でも、今週12日に過去最多となる3,705人の新規陽性者数を記録するなど、いまだ感染のピークが見えない厳しい状況が続いています。

感染拡大が続き、外来診療や入院を必要とする方が増加をしている中、症状が悪化する方や介護を必要とする方も増加をしており、医療現場の負担が急激に増加しています。

また、濃厚接触者や陽性者となる医療従事者が急増し、外来や病棟のスタッフが不足しているほか、院内クラスターも多数発生しており、医療機関の対応力が低下しています。

さらに、救急車の受入困難事案が各地で発生するなど、一般医療へも影響が生じており、医療提供体制は極めて厳しい状況となっています。

こうした状況を踏まえ、「福島県医療ひっ迫警報」を発出します。

県民の皆様には、特に次の二点について御協力をお願いします。

一点目は、「医療機関の負荷を減らす」ための取組です。

外来診療への集中を防ぐため、発熱等の症状が現れた場合は、検査キットを活用して、積極的なセルフチェックをお願いします。

また、緊急性の高い症状の方や重症の方の命を守るため、救急外来、救急車の適正利用をお願いします。

さらに、体調不良に備えて、抗原定性検査キットや解熱鎮痛薬等の事前購入をお願いします。

二点目は「感染者を減らす」ための取組です。

まず、オミクロン株対応ワクチンの速やかな接種をお願いします。

次に、症状がある方の同居家族や症状がある方と接触した方は、御自身に症状がなくても、慎重な行動をとってください。

感染していた場合、発症2日前から他の人に感染させるリスクがありますので、濃厚接触者となった方だけでなく、症状がある方と接触した方も人との接触をできるだけ避けるようお願いします。

また、大人数、長時間の会食への参加は感染リスクが高まります。

特に、これからの季節は忘年会に加え、クリスマスやお正月で多くの人が集まり、会

食をする機会も増えると思われます。御自身はもとより、御家族の体調なども含めて、慎重に判断されるようお願いしませう。

県としては、年末年始における外来診療体制の強化に加え、陽性者登録センターやフォローアップセンターの体制も強化しませう。

また、検査キット配布センターの1日当たりの配布体制を5,000から8,000キットに拡充するほか、この年末年始には、臨時無料検査拠点をJR福島駅、郡山駅、いわき駅の県内3駅に設置しませう。

さらに、オミクロン株対応ワクチンの大規模接種会場を設置しませう。

年末年始に向けて、こうした取組を通じて更なる感染拡大の防止と医療提供体制の強化に全力で取り組んでまいります。

(教育長)

学校関係ですが、知事からお話ございました医療ひっ迫警報の発出を踏まえ、県立学校に対し、健康観察を徹底して体調が悪いときには無理をせず療養するよう指導するとともに、学校内で感染が拡大する恐れがある場合には、学校の判断により、感染リスクの高い学習活動や部活動を停止するなど、感染拡大防止対策を徹底するよう、本日通知いたします。

また、市町村立の小中学校についても、県立学校の例を参考に感染対策を徹底するよう、市町村教育委員会に依頼をすることといたします。

学校においては、これから冬期休業を迎えますが、引き続き、学校内はもとより家庭内、学校外における活動においても、感染対策を徹底するよう指導してまいります。

(こども未来局長)

「福島県医療ひっ迫警報」の発出を踏まえ、市町村に対し、保育所や認定こども園など児童関連施設における感染拡大防止対策の徹底を管内の施設管理者等に周知するよう、本日通知いたします。

感染拡大に伴い、保育所等において休園数が増えており、さらにこれから冬休みを迎え、放課後児童クラブの利用が増加しますことから、施設や家庭において留意すべきポイントを示し、改めて感染防止対策の徹底を依頼いたします。

引き続き、市町村等と連携を図りながら、児童関連施設における感染拡大の防止に努めてまいります。

(総務部長)

私立学校への対応です。

私立学校におきましても、医療ひっぱく警報の発出を踏まえまして、子どもたちの更なる感染拡大を防ぐため、学校設置者に対しまして、改めて学校における基本的な感染防止対策の徹底を要請する通知を本日発出いたします。

【会議総括】

(知事)

県内は、感染拡大が続き、医療提供体制が極めて厳しい状況にあります。

このため、本日「福島県医療ひっ迫警報」を発出しました。

先ほど申し上げた、警報のポイントに加え、医療提供体制の負荷を軽減するため、受診する際には、事前に電話連絡した上で、通常の診療時間内に受診するなど、適切な受診に御協力ください。受診に際しては、まずはかかりつけ医に相談し、かかりつけ医がない場合には、各相談窓口を御利用ください。

また、新規陽性者を減らすため、基本的な感染対策の再点検と徹底、二次感染を広げないための取組などの対策を改めてお願いします。さらに、施設や業種別のガイドラインを遵守するなど、施設等に応じた感染対策を講じてください。

医療を守ることは、御自身や大切な方の命と健康を守ることにつながります。

県民の皆様お一人お一人が危機意識を持って感染対策に取り組み、日々の新規陽性者を減らすとともに、医療機関等を適正に利用し、医療機関の負荷を低減していくことが必要です。

引き続き、県民の皆様、事業者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いします。